



バリトン／オペラ訳詞家

宮本益光 リサイタル

プログラム

モーツァルト「魔笛」より

オッフェンバック「地獄のオルフェ」より

ドニゼッティ「愛の妙薬」より

ヤナーチェク「利口な女狐の物語」より

ペルゴレージ「奥様は女中!?」(全曲)

日本語訳詞で聴くオペラ名場面集

バリトン・日本語訳詞 宮本益光
ピアノ 石野真穂
ソプラノ 鶴木絵里
テノール 鈴木 准
語り・黙役 長谷川初範

2009年4月24日(金)
開場18:30 開演19:00
津田ホール チケット 4,500円
全席自由

チケット取り扱い

◎二期会チケットセンター 03-3796-1831

◎東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

お問い合わせ

◎二期会チケットセンター 03-3796-1831

主催 Mas-Mits Club
後援 財団法人東京二期会

Masumitsu Miyamoto

宮本益光【バリトン・オペラ訳詞家】

愛媛県出身。東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。論文「オペラの日本語訳詞、その方法論」にて学術(音楽)博士号を取得。奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞受賞。第69回日本音楽コンクール入選。国際モーツァルトコンクール派遣者選考会にて優秀賞受賞。

1996年に広島オペラハウス「ドン・ジョヴァンニ」でオペラデビュー。その後も「ラ・ボエーム」、プリテン「ヴェニスに死す」、新国立劇場小劇場シリーズ原嘉壽子「シャーロック・ホームズの事件簿」、三善晃「遠い帆」徳川家康、などを演じ、古典作品から現代作品、邦人作品までそのレパートリーは幅広い。2003年、A.プリヴェン「欲望という名の電車」スタンリー役の好演で一躍脚光を浴び、翌04年二期会オペラデビューとなった宮本亜門演出「ドン・ジョヴァンニ」タイトル・ロールで新時代のドン・ジョヴァンニを演じ各方面より絶賛をされた。06年二期会「ラ・ボエーム」シヨナル役に続き、宮本亜門演出による東京二期会「コジ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ役で聴衆を魅了し、その公演は芸術祭大賞を受賞した。07年日生劇場音楽ドラマ「チャイコフスキー」にタイトル・ロールとして出演して舞台をリード。歌唱だけでなくとどまらず、淡路恵子や長谷川初範といったベテラン俳優と互角に肩をならべる中で、極めて完成度の高い演技を披露し、表現者としての一層の幅と深みを加えた。08年、新国立劇場「ラ・ボエーム」シヨナル役、「蝶々夫人」シャープレス役(鑑賞教室)で出演。

コンサートでも「第九」をはじめソリストとして活躍。04年読売日響「カルミナ・ブローナ」での躍動感溢れる演奏が好評を博し、その模様は日本テレビ等でも放映された他、東京オペラシティでのリサイタル「B→C」でも成功を収めた。またテレビ朝日「題名のない音楽会21」や日本テレビ「深夜の音楽会」、NHK-FM「名曲リサイタル」などテレビ、ラジオにも出演。様々な独自の趣向を凝らしたリサイタル、子供のための音楽プログラムでも才能を発揮。日生劇場国際ファミリーフェスティバル2008では「アリスの歌修行」(宮本益光とクラシックコンサート)に出演、自ら構成も手がけ大好評を博した。また、2008年9月には大阪のシアターB RABA!と東京グループ座にて、ミュージカル「アブロース」に前田美波里の恋人ビル役で出演、注目を集めている。

05年ユニバーサルミュージックよりデビューCD「おやすみ」をリリース。HAKUJUU HALLでのCDリリース記念リサイタルを開き、満場の客席から喝采を浴びた。07年ナミレコードより自らが作詞した「あしたのうた」を含む新たなCD(加藤昌則作曲)をリリース。さらにユニヴァーサル・ミュージックより配信限定でリリースされていた「千の風になって」「小さな空」が好評につき07年にシングルCDとしてリリースされ、話題となっている。

またオペラの日本語訳詞家としての活動も注目されておりこれまでに広島市民オペラ「カルメン」(2000)、コレギウム・ムジクム「奥様は女中」(2002)、藤沢市民オペラ「地獄のオルフェ」(2003)、大阪いすみホール「カルメル会修道女の対話」(2005)、びわ湖ホール「ミニヨン」(2006)、日生劇場「利口なメグツネの物語」(2006)、ミラマール・オペラ「魔笛」(2007)、「愛の妙薬」(2009)など、次々と新日本語訳詞を発表。オペラ歌手としての経験と、訳詞家としての研究から生まれた新しい歌詞は「意味の明晰さ、歌詞としての音楽的効果をとともに満たした優れた出来映えの訳詞」、「流暢で要を得た邦訳」と、常に高い評価を得ている。また字幕の作成者としても「ドン・ジョヴァンニ」、「イドメネオ」、マティアス・グルネ公演「詩人の恋」「シューベルト3大歌曲集」、日本テレビ「モーツァルト・ガラコンサート」などを担当。その他にも音楽雑誌への寄稿、新聞紙上での書評など文筆活動もこなす多才ぶりを発揮。著書に「宮本益光とオペラへ行こう」(旬報社)がある。



Maho Ishino

石野真穂【ピアノ】

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学アンサンブル・ディプロマ修了。2002年1月より半年間、笹川日仏財団の研修生としてパリのシャトレ劇場において、サビーヌ・ヴァタン氏のもと、コレパティトゥアの研鑽を積む。最近では、主に室内楽や声楽の共演ピアニストとして演奏活動を行い、いずれも共演者から絶大なる信頼を寄せられている。また二期会及び東京室内歌劇場等におけるオペラ公演の音楽スタッフととも数多く関わるなど多方面で活躍中。現在、二期会研修所ピアニスト、桐朋学園大学嘱託演奏員、新国立劇場オペラ研修所講師。



Eri Unoki

鵜木絵里【ソプラノ】

東京藝術大学卒業。同大学大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオ42期修了。修了時に優秀賞受賞。99年より一年間イタリア政府給費生としてミラノ市立音楽学校に留学し研鑽を積む。宮本亜門演出のミュージカル「キャンティード」のヒロイン役や二期会オペラ「ホフマン物語」などに出演。スポレート歌劇場日本公演において「奥様女中」セルビーナ役、神奈川県民ホール会館30年記念オペラ、一柳慧作曲世界初演「愛の白夜」のダニエル少年役、二期会オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」(演出宮本亜門 2006年度文化庁舞台芸術大賞を受賞)のデスビーナ役など多数の作品に出演し好評を得る。TV「題名のない音楽会21」に多数出演。NHK-FM「名曲リサイタル」、オペラシティ主催「B→C」リサイタルシリーズ出演、佐渡裕指揮、大阪城ホール「万人の第九」ではソプラノリストを務めるなど活躍の幅を広げている。桐朋学園芸術短期大学、桐朋学園大学非常勤講師。二期会会員。二期会スペイン音楽研究会会員。日本声楽アカデミー会員。イタリア・オルヴィエート国際コンクール第2位受賞。



Jun Suzuki

鈴木 准【テノール】

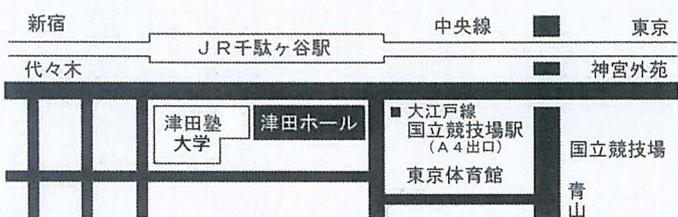
北星学園大学文学部卒業。東京藝大声楽科卒業。卒業時、松田トシ賞ならびにアカンサス音楽賞受賞。同大学院修了。第49・50回藝大「メサイア」以来、J.S.バッハ「マイア受難曲」の福音史家を始め多くの宗教曲に出演。1999年よりバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演に参加。スペイン公演などでソリストをつとめた。さらに、オペラ「愛の白夜」(2009年5月再演予定)ヨーニス、東京二期会「コジ・ファン・トゥッテ」(文化庁芸術祭大賞受賞)フェランド、佐渡裕指揮・プロデュース「魔笛」タミーノ、日生劇場「魔笛」タミーノなどに出演、好評を博した。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。



Hatsunori Hasegawa

長谷川初範【語り・黙役(ヴェスパーネ)】

1975年、映画監督今村昌平氏が校長を務めていた日本映画学校演劇科入学から俳優の道を歩み始める。78年に今村氏が手掛けた舞台「えいじゃないか」で主演を務め、デビューを果たす。同年には今村プロ制作の「飢餓海峡」でドラマ初出演、82年の「幻の湖」(橋本忍監督)で映画デビューと着実にキャリアを重ねる。1991年には大ヒットドラマ「101回目のプロポーズ」で主人公の恋敵役を演じ、一躍脚光を浴びる。最近では、NHK朝の連続テレビ小説「純情きらり」での西園寺公磨役を好演するなど実力派俳優として一線で活躍を続けている。07年、08年と美輪明宏氏演出・主演の「双頭の鷲」(ジャン・コクトー原作)に出演。多彩なフィールドで存在感を放っている。07年8月に日生劇場で催された音楽劇「チャイコフスキー心の旅」で主演の宮本益光氏と共演し、以来、声楽に魅せられて個人的に宮本氏に声楽の指導を仰ぐなど修練に力を注いでいる。08年10月にははしらかわホール(名古屋)でコンサートに宮本益光氏と出演、モーツァルトの手紙の朗読、ベルゴレージ作曲オペラ「奥様は女中」のヴェスパーネ役(黙役)で好評を博した。



津田ホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24 Tel:03-3402-1851

○JR線(中央線の各駅停車)

千駄ヶ谷駅の改札口は1か所です。改札を出て、正面の横断歩道を向かい側に渡った角が津田ホールです。入り口は建物の右側へ回った階段をご利用ください。

○大江戸線

改札口を出たらA4出口へお向かい下さい。A4出口の正面の横断歩道を向かい側に渡った角が津田ホールです。入り口は建物の右側へ回った階段をご利用ください。

●駐車場はご利用いただけません。